

単元名：動物の分類

「無セキツイ動物」

(全4時間扱い中 第4時)

授業日時 2019年9月13日(金) 第5校時

授業学級 2年A組

授業会場 第1理科室

授業者

指導者

(1) ねらい

無セキツイ動物は生命維持の機能の面でセキツイ動物と共通点があることを見いだすことができる。

(2) 授業のポイント

- ・子どもたちはセキツイ動物の体のつくりの特徴に続き、無セキツイ動物の体のつくりの特徴について学んだ。
- ・イカの解剖を通し、無セキツイ動物は生命維持の機能の面でセキツイ動物と共通点があることを見いだせる。

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 無セキツイ動物を見せ、セキツイ動物と異なる動物であることを意識する。	◇無セキツイ動物の写真をスライドで見せる。 ○「無セキツイ動物とセキツイ動物には共通点があるのだろうか。」 ★HDMI ケーブル、パソコン	3
	【学習問題】：無セキツイ動物とセキツイ動物の体のつくりにはどのような共通点があるのか。		7
	2. セキツイ動物の体のつくりを基に無セキツイ動物との共通点を予想する。	◇セキツイ動物の例としてヒトを提示する。 ◇ヒトの体の構造について振り返り、軟体動物の特徴と比較することで、内臓に着目するよう促す。 ◇無セキツイ動物の代表としてイカを解剖し、その特徴から共通点を調べることを確認する。	
展開	【学習課題】：イカの内臓のつくりに着目し、イカを解剖して、セキツイ動物との共通点を調べよう。		
	3. イカの解剖の実験を行う。	◇命をいただいて実験していることを確認する。 ◇手元を書画カメラで映しながら、切る場所や器官の名称を説明する。 ◇消化器官の姿は色水を流し込んで観察する。 ◇イカの内臓をスケッチし、構造を確認する。 ★イカ、はさみ、手袋、赤色の色水、スポイト、書画カメラ	20
	4. 実験結果を全体に共有し、考察を行う。	◇呼吸器官や消化器官があることを示し、生命維持の機能の面でセキツイ動物との共通点があることを見いだしている生徒に考察を促す。	15
終末	5. 本時の学習のまとめをする。	【評価(対象)】 無セキツイ動物は生命維持の機能の面でセキツイ動物と共通点があることを見いだすことができる。 (ワークシート)	
	6. 授業の振り返りを行う。	○「授業の振り返りを書いてください。」	5